

第4号

発行日 平成17年11月10日
 発行 東京都合気道連盟
 〒162-0056
 新宿区若松町17番18号
 (財)合気会内
 電話 03-3203-9236
 FAX 03-3204-8145
 発行人 小山 謙 二
 編集責任者 尾崎 昉

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



平成十七年度

東京都合気道錬成大会 多田宏師範が指導

平成十七年度東京都合気道合同錬成大会(主催)東京都合気道連盟、後援)東京都教育委員会、(財)東京都体育協会、(財)東京都生涯学習文化財団東京武道館、(財)合気会、全日本合気道連盟)が、九月十日(土)一時三十分から東京・綾瀬の東京武道館で開催された。錬成大会参加者は東京都合気道連盟に所属する三十四団体、二百三十五名。

開会式は国歌斉唱のあと、小山謙二大会委員長が「本日、ここに東京都合気道連盟主催による『錬成大会』が開催される運びとなりました。この大会は(財)東京都体育協会の主催行事であります。そして、本日の講師は(財)合気会本部・多田宏師範です。開祖・植芝盛平翁先生直伝の合気道を学ばれ、海外普及に大きな貢献をなされた経験豊富な多田宏師範です。ご多忙でいらっしゃる多田宏師範のご指導を受けられる機会はめったにありません。皆さんと一緒に、一言も聞きもらす事なく学び、錬成したいと思えます」と挨拶。

来賓祝辞として、(財)東京都生涯学習文化財団東京武道館・古澤公英館長が「本日は第一線で活躍中の皆さんが東京武道館に一堂に会して、心身の錬磨と合気道の技術の向上を旨とすと共に各団体相互の親睦をはかる事を目的に大会が開催されると伺っております。このような立派な大会を東京

武道館で開催していただく事は、大変うれしい事であります。東京都合気道連盟は確かな組織力と、各地域の皆様方の地道で確実な活動の積み重ねが、今日、合気道が世界の多くの人々に愛好され、益々、広がりを見せている事だと思えます。

東京武道館の役割りは、日本の伝統文化につちかわれた武道の普及、振興でありま。本日の大会が合気道の更なるご発展、ご隆盛に寄与出来ればうれしく思います」と挨拶があった。

講師・多田宏師範が紹介され、錬成大会がスタートした。

合気道の「道」について説明があった後、武道を学ぶ「最初の出発点の心得」「呼吸力と技について」「気を練る訓練」「自分の大勢とくずし」「間合い」「宇宙の智慧と力の使い方」「相手を作らない稽古」「集中力」「呼吸法」「足さばき」「宇宙の心と一体となる稽古」等を実技をまじえて説明された。



記念すべき

第五十回指導者講習会

第五十回指導者講習会が六月二十六日(日)合気会本部道場にて開催されました。記念すべき第五十回の講師は藤田昌武・合気会本部道場指導部師範。参加者は二十九団体、百六十名でした。

今回のテーマは「合気道の△○□について」



藤田師範は初めに合気道の基本となる入身、捌き、抑えの重要性を説明。つづいて「矢筈」に取る事の大事さ。そして「足の運び方」について細かく解りやすく説明。普段、忘れがちな「構え」のポイントを目、足、手、腰の四つの部分に分けて解説。後半は実技に入る前の体捌きである内・外の入身・転身を指導。

時おり開祖・植芝盛平翁先生の思い出話、逸話を披露しながら、二時間の指導を行った。受講した人々からは「ともすればなおざりになりがちな稽古が多い中で、今日のような講習は大変、有意義でした。明日からさっそく実践したい」との声が聞かれた。

絅武館道場三〇周年

稽古会、演武大会

絅武館道場開設30周年記念稽古会、演武大会、そして記念祝賀会が国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。稽古の稽古会は9月17、18、19の3日間、松村重絅館長指導のもと国内はもとより海外を含め延べ二五〇名の門弟の参加を得て第四体育館で行われました。また、合気道部の稽古会は9月17、18の両日、遠藤征四郎師範を迎え第五体育館で行われました。参加者は絅武館道場合気道部を始め関係する一心館道場茨城、J.R合気道部東京、青梅合気会(東京)など、延べ80名が参加。遠藤師範は「肩の力を抜くこと」「腕の力は使わない」等、実技を交えて解説されました。18日は午前11時より午後1時半まで記念総合演武大会が第一体育館で開催され、杖道、各種武道の演武が披露されました。鹿島神流稲葉稔先生の迫力のある演武の後、合気道遠藤征四郎師範の流れるような演武と続き、最後に杖道松村重絅館長の古流の真髄に触れる素晴らしい演武を拜見することができました。この後、記念祝賀会がレセプションルームで開催され、各界から多くのご来賓をお招きし、2時間が3時間になるほど和やかに親睦を深め、最後は絅武館道場恒例の「武田節」で終了しました。

(渋谷 力)

祖師谷合気会

二十五周年記念演武大会

平成17年10月16日(日) 植芝守央道主を迎えて、世田谷の砧区民会館ホールにて、「祖師谷合気会」25周年記念演武大会を開催致しました。

当会は、昭和55年、会長の中村文子さんにより、地元の子供達と合気道が出来る場所が欲しいとの強い一念で、自治会や、区議会議員の平山八郎先生のお力添えを頂き、



砧区会館で合気道が出来るようになり、「祖師谷合気道同好会」が創設されました。そしてこの創立25周年を機に「祖師谷合気会」と改名致しました。

演武大会は、午後1時より大会会長である平山八郎区議会議員の開式の辞で演武に移り、子供クラス(年少・年中・年長)および大人クラス総勢約200名の会員が日頃の成果を発揮しました。

子供クラスでは、我が子の勇姿を収めるためカメラのシャッターを切るご父母の方々が沢山見受けられました。

合気会指導部師範 大澤勇人先生・栗林孝典先生・藤巻宏先生の自由演武、合気会指導部指導部員鈴木俊雄先生・小谷祐一先生の基本演武など盛り沢山の演武披露を頂きとても活気のある大会でした。

最後に、植芝守央道主による総合演武に、会場に詰めかけたおよそ450名の観客も真剣な眼差しで見入っていました。会場からの歓声、感動の拍手が鳴り止まぬ中で、道主に感謝を込めて幼稚園児の福間亜美さんから花束の贈呈があり、大盛会のうちに幕を閉じました。

演武大会終了後には、会場を同ホール3階の高砂の間に移し、記念祝賀会が開催されました。東京都合気道連盟理事長の小山謙二様よりお祝辞をいただきスタートした宴も、道主をはじめ東京都合気道連盟の皆様および他の道場の皆様の御臨席を頂きまして、とても和やかな雰囲気の中、無事終了する事が出来ました。ここに慎んで皆様のご支援に感謝申し上げます。これからも益々稽古に励み精進していきたいと思っております。今後とも皆様のご指導・鞭撻の程宜しく願います。本当にありがとうございます。

(原 美代子)

緻守道場は

五十周年記念

緻守道場が十一月二十三日植芝守央道主先生をお迎えして創立五十周年記念式典、祝賀会を開催する。

緻守武徳道場主は、次のように喜びを語っている。

半世紀を顧みますと元々教育者であり柔術家の父、緻守専邦道場創設者は戦後の荒廃した世相の中に次代を担う若者達に自信と希望を取り戻すべく昭和二十五年道場の再興を計りました。その後昭和二十九年春、ある学者の紹介により合気道開祖植芝盛平翁先生に師事する事が出来その「道」と



前列左より 小山理事長、五月女貞範、二代道主・吉祥丸先生、緻守専邦道場創始者
二列目左から三番目 故・文徳道場長、

「術」に深く感銘し、ためらいもなく主に柔道生より選抜された合気道研究会を發足させました。又、翌年昭和三十年、年明けには二代道主植芝吉祥丸先生のご理解を得て東京で最初の(財)合気会支部道場として誕生いたしました。以来半世紀、三代の道統の基、初期の十数年は特に二代道主植芝吉祥丸先生、本部師範の山口清吾先生、西尾昭二先生、田村信喜先生、五月女貞先生方にはご指導ご尽力を戴き、お陰様でその後も隆盛の一途を辿ってまいりました。しかし今日に至るまでには父、専邦道場創設者が大いなる夢を遂上に此の世界からも惜しまれながら世を去りました事。又、私と共に昭和四十七年新築になった道場に将来を託し二人三脚で奮闘してきました弟、文徳道場長がこれからという時に周囲の期待をよそに短くも旺盛な生涯を駆け抜けていつてしまった事。そして記憶に新しい開設以来道場を支えてくれました一昨年の母の他界と、中心を揺るがす最大の苦境を乗り越えてまいりました。

これも偏に父、専邦道場創設者の「深遠な教育哲理」が基盤となり普遍的に支えてくれたものと確信すると共に、伝統故にか、志を同じくする緻守生え抜きの優秀な指導者と感性豊かな門弟多数に恵まれての事と感謝いたします。

おわりに一つの信念の基に曲がりなりにも此の一本道を歩み通せた私は今大きな節を迎へて充実感と幸せを覚えます。

これからも生涯の道として精進をかさねる所存ですので尚一層のご指導と温いお心寄せを戴きます事、お願い申し上げます。

(緻守武徳)

体育の日

進藤道場が演武を披露

東京武道館(東京綾瀬)主催の体育の日記念行事、演武発表会が十月十日、東京武道館・大武道場で行われた。この発表会は東京武道館を使用している各団体が一堂に会し、演武を發表するもので、合気道ほか少林寺拳法、剣道など十一団体が出場。日頃の練習の成果を發表した。合気道は東京都合気道連盟を代表して合気道進藤道場が出場した。進藤道場がこの大会に出場するのは三回目。

プログラムの三番目に出場した進藤道場は十名が座技、半身半立技、基本技を行った。最後に進藤芳子道場主が応用技、太刀取り、多人数掛を披露。

この日、東京武道館の施設では数多くのイベントが開催された。第一武道場では合気道公開指導が行われた。難波弘之、小谷佑一の指導員が担当した。(登川三樹男)

編集後記

- ◎ 今年も残す所一ヶ月と少しとなりました。この一年をふり顧つてみると、色んな事がありました。かつてない大被害をもたらしたインドネシアの大地震と津波は、我々に大きなショックを与えました。続いて起きたパキスタンの地震。ジャズのメッカ、ニューオリンズもハリケーンの被害を受けました。自然の脅威の前に、人間は何も出来ませんでした。
- ◎ プロ野球日本シリーズは、千葉ロッテマリーンズが31年ぶりの日本一に輝きました。ゴビー・パレンタイン監督は「選手を信じる事。そして、選手を思いやる事。それがすべてだ」と言っています。やる気を起こすための采配は見事でした。
- ◎ 緻守道場が創立50周年、春清寺合気道場が40周年、縮武館道場が30周年、祖師谷合気道場が25周年、大田区合気道会が20周年。お目出たい事です。益々のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。(尾崎 頌)

新年号の広告を募集しています

◎ 名刺広告

団体名、代表者、肩書き、住所、電話番号等
巾3cm×高5.5cm 程度
1コマ ¥3,000

◎ 一般広告

企業、商店、ホテル等
巾6cm×高5.5cm 程度
1コマ ¥8,000
横連続 2コマ ¥16,000
横連続 3コマ ¥24,000

第51回指導者講習会開催のご案内

「第51回指導者講習会」を下記要項により開催します。

日時	平成18年2月26日(日)	
場所	(財)合気会本部道場	
主催	東京都合気道連盟	
講師	渡邊信之 師範	
時間割	午後 1時30分 2時15分 2時30分~4時00分 4時30分~5時30分	受 付 集 合 講 習 懇 親 会
参加資格	当連盟加盟団体の会員	
参加費	2,500円(当日受付)	